

第2回福岡県観光審議会における委員からの主な意見等

	修正等意見内容	頁	対応(案)
1	第4章Ⅱ 目指す姿の「つながる」ことが、どのように課題解決につながるかが分かりにくい。	P30	「第4章 目指す姿と基本戦略」の「Ⅰ 基本的な考え方」として、「本県の現状・課題を踏まえ、本県の観光産業が持続的に発展していくためには、観光関連事業者、市町村をはじめとする自治体、観光協会、地域住民が連携し、一体となって観光振興に取り組むことで、魅力的で何度でも訪れたい地域となることが重要です。」を記載しました。
2	第4章Ⅲ 基本戦略の「1 回復するインバウンド需要の本県への着実な取り込み」に「ターゲット国・地域に」とあるが、「ターゲット国・地域ごとに」が適切ではないか。	P30	説明文を「ターゲット国・地域ごとに戦略的なプロモーションを行い誘客することで、旅行消費額の拡大を図ります。」に修正するとともに、「(東アジア:中国・韓国・台湾など、東南アジア:タイ・ベトナムなど、欧米豪:米国・英国・仏国・豪州など)」を追加しました。
3	第4章Ⅲ 基本戦略の「1 回復するインバウンド需要の本県への着実な取り込み」の「東アジア、東南アジア」は広い言葉であり、具体性が見えない。	P30	
4	第4章Ⅲ 基本戦略に、現在非常に問題となっている「人」の問題の解決を記載した方が良いのではないか。	P31	第4章Ⅱ 目指す姿の4つめの○に担い手について記載したうえで、基本戦略の「4 持続可能な観光(観光SDGs)の推進」の「地域社会に好循環を生む持続的な仕組み作り」に担い手の確保・育成も含まれています。また、施策の柱の「4 観光振興の体制強化」に「(1)各地域の観光を支える人づくり」を掲げているところです。
5	第4章Ⅲ 基本戦略の「4 持続可能な観光(観光SDGs)の推進」は、基本戦略の1～3を含むものであり、基本戦略の1～3と4との間で不整合や抜け漏れが生じないか。	P31	ご指摘のとおり、「持続可能な観光」は、基本戦略の1～3を含む概念ですが、国の観光立国推進基本計画の基本方針においても「持続可能な観光地域づくり戦略」が「インバウンド回復戦略」、「国内交流拡大戦略」とともに掲げられていることを踏まえ、本県においても基本戦略に掲げているものです。
6	高付加価値旅行者の誘客を盛り込んだ方が良いのではないか。	P33	施策の柱の「2 観光資源の魅力向上」の「(2)体験、交流、滞在型観光の推進」に、「②本県の豊富な自然や、多彩な文化、サイクリング、トレッキングをはじめとしたアクティビティを組み合わせたアドベンチャーツーリズムなど、高付加価値な旅行商品の造成に取り組みます。」を追加しました。
7	福岡県は九州の入口であり、九州の入口としてのブランディングや、九州のプロモーションとセットでのプロモーションが重要ではないか。	P34	施策の柱の「3 戦略的なプロモーション」の「(3)九州一体となったプロモーション」に、「①九州各県や一般社団法人九州観光機構と連携し、旅行博や商談会の出展等、九州全体の観光振興を図ることで、本県の認知度向上と誘客を図ります。」を記載しております。
8	インバウンド誘客は重要であるが、日本人旅行者の満足度の向上に取り組むことも重要ではないか。	P30 P32	Ⅲ 基本戦略の「2 リピーターの確保と県内の周遊促進」について、「国内外からの」を追加するとともに、「1 受入環境の充実」の成果指標として、「日本人旅行者の満足度」を設定しました。
9	旅行消費が地域にどれだけ残るのかといった指標が立てられると良いのではないか。	—	旅行消費の地域内循環に関する統計はないため、現時点での数値設定は困難であると考えられます。国や他県などの今後の動向を踏まえながら、地域内資金の循環について研究したいと考えています。